



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2001号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120

会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2064回例会

2015.3.19雨

司会 古川喜仁君

ロータリーソング
「日も風も星も」
指揮 栗原達治君

会長挨拶 副会長 鈴木郁夫君

ゲストビジターの皆様ようこそおいでくださいました。心より歓迎申し上げます。

さて先週の例会で、苗栗ロータリークラブとの中学生交換研修事業の歓送会が行われ、7人の中学生から、元気で頼もしい抱負を聞くことができました。中学生たちは明後日に羽田をたちますが、中学生交換研修事業が無事成功裏に終わることを心から願っています。私も諏訪部会長、千葉幹事とともに明日羽田を出発して苗栗ロータリークラブ創立44周年の式典に出席して参ります。

ここで大変基本的なことですが、少し台湾のことに触れてみたいと思います。台湾の人口ですが、約2344万人、日本の人口の約6分の一弱です。国土の面積は九州とほぼ同じ大きさです。人口の98%が漢民族で占められ、残りの2%が台湾の原住民です。漢民族のうち70%が河洛(ホーロー)と呼ばれ、17世紀ごろ、江戸時代の初め頃に、オランダの植民地であったところから清朝時代にかけて台湾のすぐ対岸の福建省などから台湾に渡った人たちがルーツとされています。また14%が客家(はっか)と呼ばれ、移動、定住を繰り返して、原住民から見るとよそ者お客ということで客の家、客家と呼ばれました。台湾の客家は、清朝時代に香港と隣接している広東省などから移住してきた人々がルーツとされています。大変優秀で有名な人を多数輩出し、教育熱心で商業、経済に通じているので、中国のユダヤ人と呼ばれることがあるそうです。華僑の3分の一が客家といわれています。鄧小平、孫文、シンガポール元首相のリー・クワンユー、台湾初の民主的に選ばれた総統の李登輝、フィリピンの元大統領のコラソン・アキノなども客家です。残りの14%が外省人で、第2次世界大戦後、共産党との内戦に敗れた蒋介石、国民党とともに大陸からやってきた人々とその子孫のことを言います。1996年の民主化まで少数の外省人による国民党政府の独裁が続きました。外

省人がやってくる前から住んでいる漢人 河洛(ホーロー)客家を本省人と呼ぶそうです。苗栗市は人口約9万人ですが、その大部分が本省人である客家です。

台湾は1895年日清戦争後の下関条約で大日本帝国に割譲され、1945年まで50年間日本の統治下にありました。この時代に交通網、義務教育制度などを整備し就学率を71%ほどにあげ、その当時アジアで日本に次ぎ2番目の就学率を達成しました。また後藤新平が衛生状態を改善するために近代的な上下水道を整備し、八田興一が農業灌漑用水として烏頭山ダムの建設を指揮しました。

このようなことが、台湾が親日国である理由の一つとされています。このようなことも心の片隅にとどめつつ、行ってまいります。

出席報告

	出席総数	出席率	メ ア ッ プ	修 出 席 率
前々回	37/45	82.22%	38/45	84.44%
今回	34/42	80.95%	会員総数	48名

欠席者 遠藤(正)君、勝間田君、佐野君、鈴木(正)君、橋本君、藤江君、米山君

幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①本日は、瀬川さんの卓話。ゲスト・スピーカーはアスルクラロスルガの山本代表です。
- ②伊丹さん、宇田川さん、梶山さんの推薦で入会希望者の木村さんの入会諾否お伺いを発送しました。意義がない場合は来週から入会のための手続きに入ります。
- ③苗栗へ向けて明日、諏訪部会長が、明後日派遣中学生が出発します。国際奉仕委員会や同行して下さる会員、その他ご準備にご活躍戴いた皆様、ありがとうございます。
- ④三島市教育委員会より、中学生の職場体験事業『ゆめワーク三島』への協力要請があり、皆様のポケットに案内状を入れました。
- ⑤次々週4月2日は例会前に定例の理事役員会を開催します。

2014~2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリー・C.K.ホアン

ロータリーに輝きを

“こんにちは、ようこそ”

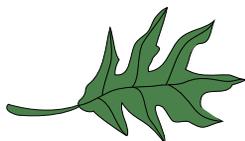
ゲスト 山本浩義さん
(アスクラロスルガ株式会社・瀬川君のゲスト)
石田良輔さん(アスクラロ沼津・瀬川君のゲスト)
ビジター 井口昭宏君(長泉RC)

おめでとう

会員誕生日 石井(良)君
結婚記念日 小野君

スマイルボックス

- ◆宇田川君、初孫が生まれました。うれしいです。でも、「おじいちゃん」と呼ばせないぞ!
- ◆鈴木(郁)君、遠藤正幸さん、いろいろありがとうございました。
- ◆小野君、今日から補聴器を入れてきました。今まで自分の故障を棚に上げ、役員の皆様の発言に文句を言ったりしていたことを深くお詫びします。
- ◆窪田君、アスルの山本さん、今日はサッカーに対する情熱を聞かせてください。楽しみにしております。
- ◆ゴルフ同好会、3月15日(日) 沼津ゴルフクラブにてゴルフコンペを行いました。優勝平出さん・準優勝西本さん・3位関本さんでした。次回は4月12日に函南ゴルフ倶楽部で行います。
- ◆室伏君、早退させていただきます。



卓話

東部地域にJリーグクラブを作ろう

アスクラロスルガ株式会社 山本浩義さん

アスクラロ沼津では1990年の創設以来、青少年のスポーツ活動を中心に、地域の皆様の健康づくり、コミュニティづくりをサポートする仕事を行ってきました。

スポーツを通じて地域を活性化し、子供たちに夢を与えたいとの想いから、一昨年Jリーグへの準加盟申請を行いました。その結果、準加盟の承認を受け「J3ライセンス」を取得致しました。このことは地域にプロチームができることをJリーグが支援していくことを意味しています。残念ながら2014年シーズンからのJリーグ参入の夢は叶いませんでしたが、昨年は初のJFL(日本フットボールリーグ)を戦いました。14チーム中8位という成績に終わり、2015年シーズンもJFLを戦うことになりました。

これまで東部地域はサッカー後進地域と言われてきました、しかし指導者が育成され、東部地域にも素晴らしい選手がたくさん輩出されるようになりました。東部地域で生まれた子供たちは東部地域で育成し、東部地域に夢のあるチームがある、そんな環境を作っていきたいと思っています。

地域にプロチームができることのメリットとしては、J1の浦和や新潟、または野球チームの楽天や千葉ロッテのように、スポーツを通じて地域を一つにまとめる大きな力があると思います。また多くの子供たちに夢や希望を与えることができます。メディアなどに取り上げられることによって、この地域を全国の方にも知ってもらうことにもなります。ホームゲームのときにはアウェーチームのサポーターが大勢応援に来ます。その方たちがこの地域の良さを感じ、リピーターとしてこの地を訪れることがあるかもしれません。

しかし、一方でJリーグからはしっかりとした組織体制と安定財源の確保を求められています。我々クラブは大企業に支えられているクラブではありませんので、むしろ地域に根差した、地域密着型のクラブづくりを目指しています。地域企業、地域住民のご支援ご協力なしには、運営が厳しい状況にあります。昨年より安定財源の一つとしてソシオ会員3万人プロジェクトをスタートさせ、地域住民にご協力をお願いしております。年間3,600円の会費ですが、地域企業の協力のもと、カードを提示するとサービスを提供していただける店舗が200店舗あまりあります。また、地域企業の皆様にはソシオ法人会員として1口30,000円でご支援をお願いしています。

アスクラロではスポーツでつながる街づくりを目指して、今後も頑張りますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※ソシオ=スペイン語で「仲間」という意味

(週報担当:瀬川幸信)